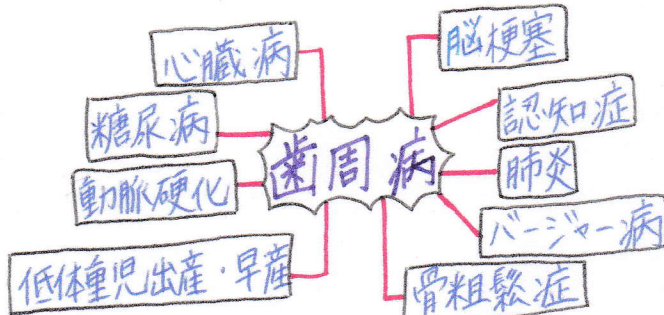


歯周病が重度なほど 年間医療費が高くなる?!

日本人の平均寿命は医療の進歩などによりどんどん伸びていきます。
しかし、平均寿命と健康寿命には約10年の開きがあり、

この健康寿命を伸ばすことで医療費削減が可能になります。
まず、歯科医療が変える、国民の病気リスクをみてみましょう。

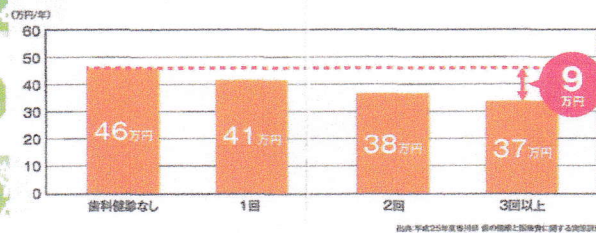
歯周病は国民病! 万病のもと!
35歳以上の約8割が罹患!



このように歯周病は身体全体に悪影響を及ぼします。
ではこの歯周病が1人の年間医療費とどう関係しているのでしょうか。

歯科健診頻度別 年間医科医療費

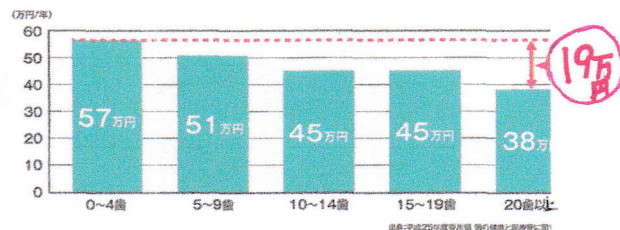
定期的な歯科健診を受けている人ほど、
年間医科医療費が少ないことがわかりました。



歯科健診では、歯ぐき・むし歯のチェックだけでなく、
ブラッシング指導など、様々な観点から診査を行います。

残存歯数別 年間医科医療費

歯の本数が0~4本の人は、20本以上ある人に比べ、
年間医科医療費が19万円高いという結果に。



歯の本数が少ない人は、糖尿病・高血圧において
医科医療費が高くなる傾向がみられました。

生涯医療費の負担を少しでも減らすためには、
定期的に歯科へ通う習慣を身につけましょう!

お口の中から身体全体の健康を守っていきましょう!

